

「地酒講座」1回目の参加者を募集します

酒米の生産・精米所・醸造所まで、オールみどり市産の日本酒があることをご存知ですか？

地域に根ざした日本酒造りを通じて地元を理解し、また稲作、醸造の科学、日本酒の文化や楽しみ方に至るまでを学び、体験する「みどり市の地酒講座」を開催します。

第1回目のテーマは「日本酒の米作り」。酒米について学びます。おうちで酒米づくりをたのしむ「バケツ稲」と、オールみどり市産日本酒「山紫」配布（持ち帰り）があります。

開催日 ①令和6年 6月 8日（土）
②令和6年11月30日（土）
③令和7年 2月15日（土）

会場 ①多世代交流館、塩原地内の田んぼ
②いきいきセンター、近藤酒造
③多世代交流館調理実習室、近藤酒造

対象 20歳以上市内在住・在学・在勤者
試飲あるときは送迎の用意ができること

定員 各回25人（申込み多数の時は抽選）

参加費 ①500円 ②無料 ③1,000円

申込受付 今回は全3回のうち第1回目の参加者を募集
5月17日（金）から5月30日（木）まで

みどり市の 地酒講座

申込み方法

全3回



このQRコードを読み取り「メール作成画面はこちら」からフォームに記入して送信してください

としあな

ベリーダンス集中教室

日時 令和6年5月26日（日）、6月9日（日）、6月23日（日）
午後1時～3時（受付：午後12時30分～）

会場 多世代交流館 3階 サークル室3

内容 基礎に触れ、3回の教室で繰り返し、自分の上達を体感してもらいます。

講師 mizue（TAFダンスカンパニーマネージャー）

対象 市内在住・在学・在勤者の「女性」、年齢制限なし

定員 30人（先着順）

参加費 無料

申込受付 5月20日（月）まで

申込方法 電話またはメールにて申し込む。



しめきり迫る！
しめきり後も相談に応じ、受付可能です
諦めずにお電話ください

としあな

Instagram ぞくぞく更新中！

多世代交流館と大間々公民館のイベント・講座情報や館内案内情報などを、鮮度高めで発信しています。

ぜひフォローをお願いします。



OMAMAKOUMINKAN

大間々町人口 [令和6.4月末日]		(市全体)
男(人)	8,498	24,087
女(人)	8,815	24,580
合計(人)	17,313	48,667
前月比(人)	△73	△115
世帯数	8,052	21,429

次号の「おおま公民館だより」は令和6年7月19日発行予定です

おおま 公民館 だより



大間々公民館HP

「おおま公民館だより」カラー版が、ホームページからご覧いただけます

令和6年5月16日
第91号

発行：みどり市大間々公民館
〒376-0115

みどり市大間々町塩原363
(みどり市多世代交流館内)

電話：0277-76-2310

FAX：0277-72-4312

Eメール：okouminkan

@city.midori.gunma.jp

世界最古の舞踊 楽しく美しくなろう！

3月24日（日）ベリーダンス体験教室を実施しました。講師は、ベリーダンサーのmizue先生です。

多世代交流館サークル室3に集まった5歳から70歳の参加者は、ストレッチで体をほぐしてから、基本の動きを学びました。

骨盤を動かして、お腹、腰を震わせる動きは独特で、お腹を振るダンスであるため、英語で、お腹の踊り：belly danceと呼ばれています。本場アラビア語ではRags Sharqi（ラクス・シャルキー：東方の踊り）と呼ばれます。

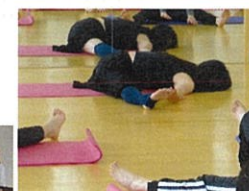
古代エジプト発祥であり、女神崇拝の巫女の踊り、豊穡を祝うため、オーケストラをバックに王宮で踊られ、アラブの女性たちに長く継承され、現代でもトルコやエジプト等中近東湾岸諸国での代表的な民族舞踊です。

「腰の動きが難しい」「上半身の姿勢が大変」などといったながらも、先生の明るく、元気な声がけに参加者も笑顔になって、頑張りました。

ベリーダンスの独特の動き、バックに流れる中近東の音楽を聴きながら、異国文化の世界観に浸った2時間でした。



5歳の女の子も頑張る！



先生、柔らか〜い！

ベリーダンスは好評のため、全3回の「集中教室」を開催します！詳しくは4面をご覧ください

4月5日～15日頃は桜が満開を迎え、来場者・通行者たちを楽しませてくれました。

写真を撮ったり、弁当を広げているグループもいたり、桜はこの時期の主役ですね！

ことしはもう葉桜ですが、また来年もきれいに咲くことでしょう。

桜の彩り



ランドセルの寄付を募っています

みどり市婦人会連合会では、不要となっているランドセルの回収を行っており、4月末までに24個ものランドセルを送ることができました。ご寄付いただいた皆様にお礼を申し上げます。

ランドセルの回収は、現在も継続しております。おうちで眠っているランドセルが、また子どもたちの背中で頑張ります。不要となったランドセルの再利用をご検討ください。



たくさんのご寄付
ありがとうございます

ランドセルは大間々公民館で一旦預かり、事業者を経由して送っています。ランドセルを送ると、事業者から発展途上国へポリオワクチンが寄付されます。

お問合せと回収は…

大間々公民館 0277-76-2310 みどり市大間々町塩原363 (多世代交流館内)

令和6年度
第1回市民講座

人生100年時代を楽しく生きるための健康管理

— 体の機能改善と充実した毎日のために —

人生を健康で楽しく生きる (過ごす) ヒントを一緒に考えるための講演会です。



開催日: 令和6年6月29日(土) 午後2時開始 *90分程度

会場: 多世代交流館 多目的ホール (2F)

定員: 50名(先着順)

参加費: 無料

講師: 医学博士 小川哲史さん (大間々町出身)

独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター院長

○ 申込受付: 6月1日(土)から6月25日(火)まで (定員になり次第締切)

※ 月曜日から日曜日の毎日 (午前9時から午後5時まで)

○ 対象者: みどり市内在住・在勤・在学の方

○ 主催・申込・問い合わせ先 大間々公民館へ電話、FAXまたは窓口まで
電話76-2310 FAX72-4312

子育て支援センターの活動

当館をご利用いただいている子育て支援センター「と・と・ろの家」。未就園のお子さんとその保護者の方を対象に活動しています。

活動内容は、保護者同士の情報交換やリフレッシュ、思い出づくりなどです。

取材させていただいた回では「リフレッシュサロン」として、お子さんが保育士さんたちと遊んでいる間に、保護者の方がプロの方によるマッサージ等を受けていました。



復旧を応援するために!

石川県能登半島地震により被災された方々は、今なお、厳しい避難生活を強いられています。

被災者応援のため、多世代交流館では今も募金箱を設置しています。

お預かりした募金は日本赤十字社を通じ被災者の皆様へお届けします。

右の金額を日本赤十字社にお届けしました。
ありがとうございました。

1月度	8,595円
2月度	3,211円
3月度	2,572円

関節の健康教室

3月28日(金)、高齢者を対象に「関節の健康教室」を開催し、9名の方が参加しました。

講師は大間々のきずな接骨院の須藤院長さんです。

平均寿命と健康寿命には約10年ほど差があるそうです。健康寿命を延ばすため、軽易なように普段動かさないところの体操やストレッチを実際に行いながら紹介してくださいました。



サークル紹介

歌謡吟「せんの会」

多世代交流館で活動するサークルを紹介します。今回は「せんの会」詩吟サークルです。

会の名称は、大

間々扇状地の扇からとった「せん」などが由来だそうです。

取材した日は、先生含めて5人が活動していました。

来る4月7日(日)ながめ余興場での翠晴流吟道大会の最後の調整をしている最中でした。



消防避難訓練



3月19日(火)、多世代交流館では消防訓練を実施しました。

下の階での火災発生により階段を使って逃げるのができず、3階に取り残された人が避難袋を使って脱出するという設定です。



避難袋は小学校時代から引き継いだもので、3階のみにあります。見下ろすと高く見えて怖いのですが、避難袋内部は螺旋状なので、グルグル回って降りる滑り台のような形状で、ゆっくり降下していきます。

その後、消火栓、消火器による消火体験。火に見立てたカラーコーンに目がけて消火栓ホースからの放水! 水圧が強く押し返されそうになります。

参加者さんたちも、普段できない体験に真剣でした。…が、それらを使うような事態にならないのが一番ですね

緊急用機材はずっと眠りに入ってほしいものです。

私たち管理者も気を引き締めてまいります。



子どもたちの「あっ!分かった」のお手伝い

夏休み中に公民館の一部施設を学習室として開放し、子どもの学び支援事業「こようみんかんdeスタディ」を行います。このときに、こどもたちと一緒に疑問点を考えるなど、子どもたちの自主学習を支援する学習支援ボランティアを募集します。

1. 対象 みどり市及びみどり市近郊に在住する高校生以上の方
2. 内容 小中学生の自主学習を見守り、分かる範囲で質問に対応する
3. 期間 大間々公民館では令和6年7月23日(火)~26日(金)

【午前の部】9:00~12:00 【午後の部】13:00~16:00

5. 謝礼 1回750円(交通費・所得税込)

6. 申込方法 希望する公民館へ電話、メール、または窓口のいずれかで申し込む

7. 申込期限 令和6年6月17日(月)まで

